

令和5年度 イチオシ!の ICT 活用方法

教育委員会

東金市教育委員会

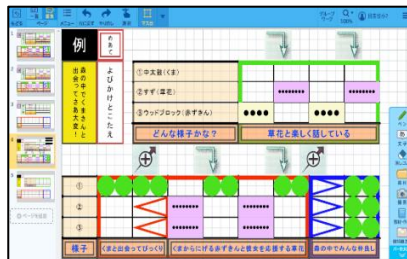
1. 小学校の学習における活用方法（学校名：東金市立日吉台小学校）

【 小学校 音楽科（6年）「いろいろな音のひびきを味わおう」 】

「1人1台端末を活用して音楽づくりの図形楽譜を作成する。自分たちの演奏を撮影して、個人やグループで確認する。」

メリット

- ・ 教具の用意が簡単。
⇒ 教師が作成したワークシートを、学習活用ソフトウェアで一斉配付する。
これによって、紙で複製・印刷する手間が省ける。
- ・ 児童が表現したいものに近づけられる。
⇒ 表現したい演奏をより詳しく表すために、「クレシェンドの長さ」や「音の数・大きさ」などを、画面上で自由に変えることができる。
- ・ 個別最適な学習ができる。
⇒ 端末上で楽譜を作成させることで、自分の考えを表出することが苦手な児童の学習機会を確保することができる。
- ・ 児童の学習活動をポートフォリオ化することができる。
⇒ 端末上で、楽譜を作らせたり、演奏を撮影させたりしたことで、児童の思考の変容を見取ることができる。



2. 中学校の学習における活用方法（学校名：東金市立西中学校）

【 中学校 国語科 1人1台端末を活用した俳句づくりと鑑賞 】

<概要>

自分で撮った写真を発想、表現の元とした俳句をつくり、その後、写真と共に作成した俳句を表示し、鑑賞・評価する。



【メリット】

- ・ 生徒が自分で撮影した画像を利用することで、より主体的な取組（創作活動）とすることができる。
- ・ 何度も繰り返して推敲することが容易になる。
- ・ 季節に合った写真を撮影し、俳句を作成することでより表現力を育成する取組とすることができる。
- ・ 季節を感じながら写真を撮り、写真に合った季語を探すことで俳句に深みが出る。
- ・ 写真と俳句（画像と文字）の両面から自分の気持ちを表現でき、鑑賞時も見ている人に気持ちが伝わりやすい。
- ・ 共有フォルダを活用することで、詠みあげ音声を付けることや、より効果的な評価へつなげることなどができる。